

はっとしたことを

指導目標

生活を見直して、発見した事を詩に書く。

教材について

本教材「はっとしたことを」は、2年生での「かんじたことを」を受けて、4年生での「新しい目で」へと発展していくものである。

これまでに、子供たちは生活の中で強く心に感じたことを、詩の形で表現できることを学んでいる。3年生では、さらに、今まで何気なく見ていたものにも目をこらして、「はっと」不思議に思ったり、美しく感じたりしたことから取材して詩に書くことを目ざしている。そのためには、「はっとした」とは、どういう時・どういうことなのかに気づかせなければならない。二編の詩を読む前に、「雨だれ」「まん丸の夕やけ」の題名読みをさせる。自分たちのイメージと作品との違いから、作者の目や心の向け方に気づき、「はっとしたことを」を見つける手がかりになるであろう。さらに、自分たちが「はっと」心を動かされた体験を発表し合うことで、何を書いたらよいかかわかるとともに題材の広がりが出てくることも期待したい。

「雨だれ」は、雨のしずくが落ちる様子を詳しく観察し、音から想像をふくらませて擬人法で楽しさを歌った作品である。会話と連が効果的に使われ、しずくを人間のように感じて書いている。作者の工夫を学習した後、擬人法を取り入れて書く活動を組み入れることで、生活の中になげなくあるものを見つめ直すきっかけにしたり、五感を使って表現したりする力を養いたい。

「まん丸の夕やけ」は、「目をつぶっても丸い夕やけがのこっている」という発見が、生き生きと書き表されている。最後の比喩も気持ちにぴったり合っている。ここでは、「発見ノート」から詩に書き直す方法についても指導していきたい。

二編の詩を学習することをとおして、日常生活の中には目や耳など五感を使って観察すると、詩になる題材がたくさんあること、感動を表現するにはいろいろな方法があることに気づかせたい。

同時に詩を書くことで、物や人を見る目が養われ、感性を育み、豊かな心を育てていくであろう。指導にあたっては、読書の時間や家庭学習、朝自習、朝の会・帰りの会などを生かして、できるだけ多くの詩に親しませたり、詩を書く場を多く設定していくことも大事にしたい。

「B書くこと」の目標と内容

目 標

- (1) 相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。

内 容

- (1) 書くこと的能力を育てるため、次の事項について指導する。

ア 相手や目的に応じて、適切に書くこと。

イ 書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること。

ウ 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えること。

エ 書こうとする事を中心を明確にしなが、段落と段落との続き方に注意して書くこと。

オ 文章のよいところを見付けたり、間違いなどを正したりすること。

学習指導計画（全7時間）

展開・時	学習活動 と 教師の働きかけ	留意点・評価												
1時	<p>表題「はっとしたことを」、詩「雨だれ」・「まん丸の夕やけ」を読んで、学習のめあてをとらえる。</p> <p>1. 「雨だれ」「まん丸の夕やけ」の題名から、書かれている内容や言葉のイメージを想像して発表する。</p> <p>2. 二編の詩を読む。想像したことと詩に書かれていた内容・表現の違いから、作者が心を動かされた「はっとしたこと」の中身について考え、自分でもはっと心を動かされた詩を書くことをつかむ。</p> <p>3. 生活の中から「はっとした」体験を発表し、いろいろな「はっとした」があることをつかむ。</p> <p>4. 「はっとしたこと」の題材をメモする。</p> <p>5. 学習の終わりに詩集を作り発表することを知る。</p>	<p>・ 1時間の話し合いの中から、詩を書く観点にできそうな意見を短冊化し、集材・選材・記述・推敲の授業に生かす。</p> <p>= 「短冊：詩を書く観点」</p> <p>・ 自分たちの想像したことと詩を読み比べることによって、作者ならではの発見に気づかせていく。</p> <p>関：生活の中から「はっとした」題材を見つけようとしている。(発言・ワークシート)</p>												
2時	<p>「雨だれ」の詩を視写し、詩の書き表し方の工夫や作者が心を動かされたことについて話し合う。</p> <p>1. 視写し、表現の工夫や気がついたことを書き込む。</p> <p>2. 掲示物提示。視写と異なる点を考え、表現の効果と作者の発見について発表する。</p> <p>4. はっとした内容、表現の工夫について、自分の作品に生かす視点から感想をまとめる。</p> <div data-bbox="534 761 933 1198" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">掲 示 物</p> <p style="text-align: right;">雨だれ</p> <p style="text-align: right;">白土 慎</p> <p>つうう、ぼとん。 つうう、ぼとん。 つうう、ぼとん。 小さなしずくが集まって、 みんなでなかよく歌っているよ。 葉っぱもいっしょに歌い出し ころころしずくがころがって 子犬のせなかにおっこちた。</p> </div>	<div data-bbox="965 716 1348 772" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>「」, 連, くり返しなし</p> </div> <p>・ 1時間の話し合いの中で、詩を書く観点にできそうな意見を短冊化しておく。</p> <p>・ 理由を話し合うなかで、「」と擬音語・擬人法、くり返しとリズム、連と構成の効果に着目させる。</p> <p>関：表現の優れているところや生かしたいことに気づいている。(発言・ノート)</p>												
3時	<p>擬人法を使った詩の創作遊びをする。</p> <p>1. はっとした詩を擬人法で作る。</p> <p><ワークシート例></p> <div data-bbox="263 1355 1332 1848" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>上の言葉と下の言葉を、一つえらんで線でつなぎましょう。(は自由欄)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">うんてい・</td> <td style="width: 50%;">ないてる</td> </tr> <tr> <td>学校 ・</td> <td>・歌ってる</td> </tr> <tr> <td>雨つぶ ・</td> <td>・とび出してくる</td> </tr> <tr> <td>ぶらんこ</td> <td>・おどってる</td> </tr> <tr> <td>まっくら・</td> <td>・さけんでる</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 。</td> </tr> </table> <p>原稿用紙(省略)</p> <p><作品例></p> <p>ぶらんこがないている / 雨がふってぶらんこはびしょぬれ / いつも遊んでいる子どもたちも / やってはこない / キーコ キーコ キーコ キーコ / ぶらんこはさみしそうにゆれていた</p> </div>	うんてい・	ないてる	学校 ・	・歌ってる	雨つぶ ・	・とび出してくる	ぶらんこ	・おどってる	まっくら・	・さけんでる	 ・	・ 。	<p>書・言：擬人法を使い、句読点や改行に気をつけて書いている。(作品)</p> <div data-bbox="869 1422 1324 1747" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p><作り方></p> <p>「～」が「 している。」とつなげる。</p> <p>している様子を 見たまま、聞いたまま、 さわったまま、思ったままに つけたして書く。</p> <p>・くり返しや連にしたほうがよいところはないかな。</p> </div> <p>・ 作品を読み合ってよさを発表。詩集に加える。</p>
うんてい・	ないてる													
学校 ・	・歌ってる													
雨つぶ ・	・とび出してくる													
ぶらんこ	・おどってる													
まっくら・	・さけんでる													
 ・	・ 。													

展期・時	学習活動と教師のはたらきかけ	留意点・評価
4時	<p>「まん丸の夕やけ」を視写し、詩の書き表し方の工夫や作者が心を動かされたことについて話し合う。</p> <p>1. 詩を視写し、P 65「発見ノート」にある言葉と同じ部分にサイドラインを引く。</p> <p>2. 「発見ノート」から詩に書いた際、細川さんがどのような表現の工夫をしたか、どうしてそのような表現にしたのか話し合い、表現の効果と作者の感動について考え、詩を書く観点をまとめる。</p> <div data-bbox="256 584 1337 853" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><例> 発見ノート 詩の作品</p> <p>・学校の階段から <u>(学校の)階だんのまどいっぱい</u></p> <p>・目をつぶっても、丸い夕やけがのこっていた。</p> <p style="text-align: center;"><u>「目をつぶっても</u> <u>丸い夕やけがのこっているよ。」</u></p> <p>・しちょうかく室から見たら、<u>四階のしちょうかく室へ走っていった。</u></p> <p>以下省略 ~~~~~</p> </div> <p>3. 細川さんの「はっとしたこと」についての内容や表現の工夫について、自分の作品に生かす視点から感想をまとめる。</p>	<p>・1時間の話し合いの中で、詩を書く観点にできそうな意見を短冊化しておく。</p> <p>・会話や改行、比喩で思いを強調、「見たら」という言葉を使わずに見えたものを描写して説得、よけいな言葉を削るといった工夫に着目させる。</p> <p>関：表現の優れているところや生かしたいことに気づいている。(発言・ノート)</p>
5時	<p>生活を見つめ直して「はっとしたこと」から詩の題材を選び、ワークシートに書く。</p> <p>1. 生活の中や発見ノートを見直して、「はっと」心が動いたことをワークシートに書き足す。</p> <div data-bbox="268 1171 922 1357" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p><第一時を受けた「はっとしたこと」観点例></p> <p>・発見したよ ・驚いたんだ</p> <p>・なぜだろう ・美しかったよ</p> <p>・かわいそうだった ・すてきだと思った</p> </div> <p>2. メモの中からいちばん書きたいことに赤丸をつけて詩に書く題材を決め、気持ちにぴったりの言葉をワークシートに書く。</p>	<p>・これまでに書きためておいた「短冊：詩を書く観点」から、集材・選材に生かせるものを掲示する。</p> <p>書：発見したことや驚き、疑問、美しく感じたことなど、心が動いたことを題材に選んでいる。(ワークシート)</p> <p>書：いちばん心が動いた題材を一つ選んでいる。(ワークシート)</p>
6時 (本時)	<p>身のまわりの物事を見つめ直し、「はっとしたことを」詩に書き表す。</p> <p>1. 書きたい「はっとしたこと」がわかるように、表現の仕方を工夫して詩に書く。</p> <p>2. 作品を声に出して読み返し、表現を工夫したり言葉を削ったりして作品を仕上げ、詩集に加える。</p>	<p>・「短冊：詩を書く観点」を利用する。</p> <p>書：学習したことを生かし、表現を工夫して自分の言葉で書いている。(作品)</p> <p>書：推敲の観点がわかり、直そうとしている。(観察・作品)</p>
7時	<p>グループごとに作品を読み合って感想を交流する。</p> <p>1. 読みあって、よい表現やその作者らしい発見・感じ方、アドバイスを付箋紙に書き合う。</p> <p>2. 必要と考えれば、アドバイスに応じて推敲する。</p>	<p>関：友達の商品のよいところや、アドバイスすること(句読点・改行を中心に)を伝えようとしている。(付箋・発言)</p>

本時の展開（本時 6 / 7）

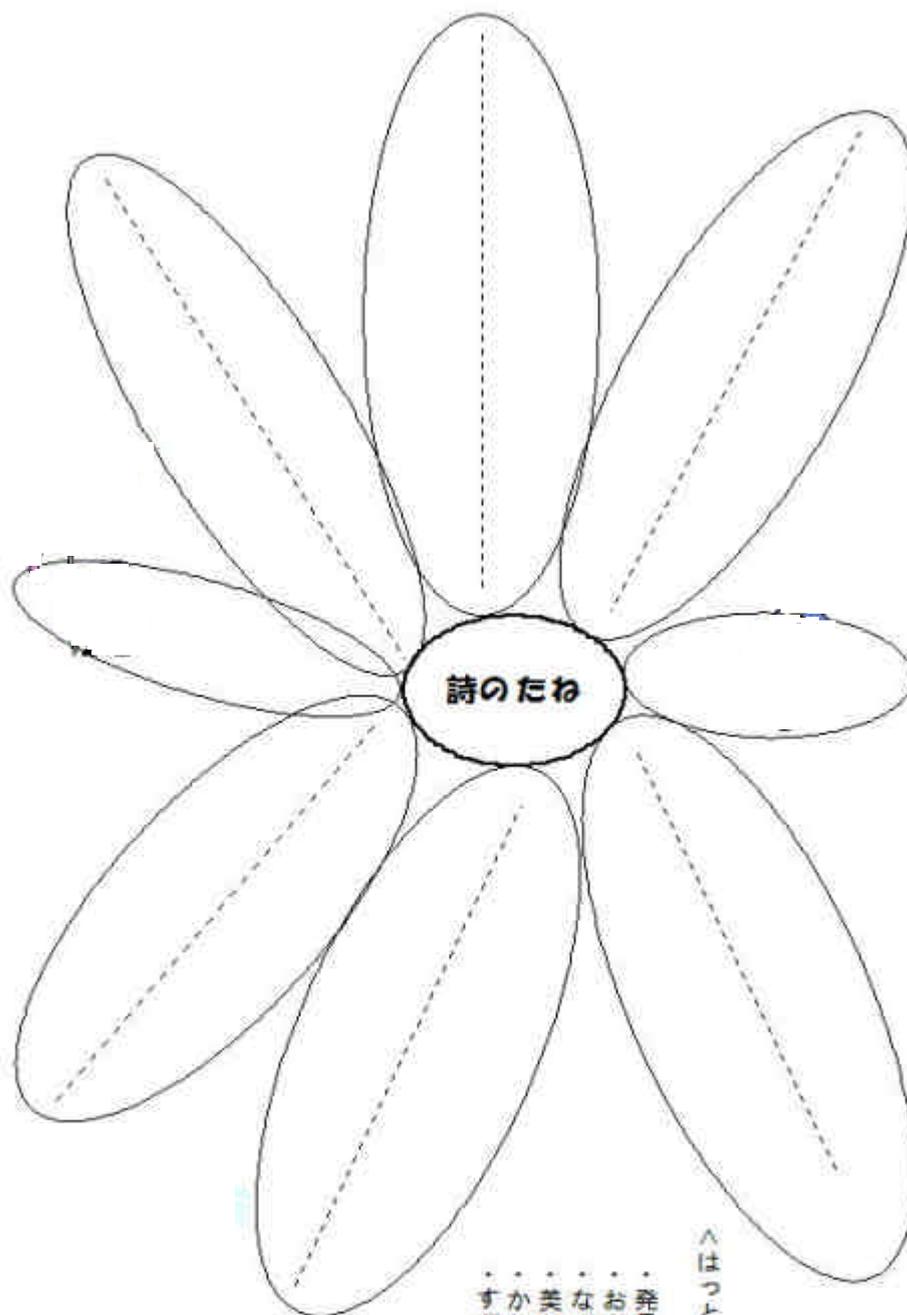
目 標

- ・身のまわりの物事を見つめ直し、「はっとしたことを」自分の言葉で詩に書くことができる。

展開例

学習活動・学習内容	指導上の留意点	評価・支援										
1. 学習課題を確かめる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 心が「はっと」動いたことを詩に書きましょう。 </div>												
2. 書きたい詩の題材を確認する。(全員) ・題材を一斉つぶやき発表。 ・詩の気持ちごとに、挙手して確認。	・詩の気持ちごとに挙手して、何を書くか確かめるようにさせる。	・前時までの、ワークシートを見るよう助言する。										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">(気持ち)</td> <td style="padding: 5px;">発見した</td> <td style="padding: 5px;">驚いた</td> <td style="padding: 5px;">なぜだろう</td> <td style="padding: 5px;">きれいだ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;">かわいそう</td> <td style="padding: 5px;">おもしろい</td> <td style="padding: 5px;">すてきだ</td> <td style="padding: 5px;">...</td> </tr> </table>			(気持ち)	発見した	驚いた	なぜだろう	きれいだ		かわいそう	おもしろい	すてきだ	...
(気持ち)	発見した	驚いた	なぜだろう	きれいだ								
	かわいそう	おもしろい	すてきだ	...								
3. これまで書きためてきた「詩を書く観点カード」から、記述について書いてあるものを掲示して確かめる。	・自分の工夫点もノートを読んで想起させる。	・ノートを読み返すよう助言する。										
<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; padding: 5px;">詩を書く時</td> <td style="padding: 5px;"> ・今、その場でしているように、見ているように書く。 ・「きれいだ」「おもしろい」という、気持ちの言葉を使わずに書く。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; text-align: center; padding: 2px;"> 目、耳、心をはたらかせて </div> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> ・ひとりごとを言っているように、よびかけるように、さげんでいるように書く。 </td> </tr> </table> </div>			詩を書く時	・今、その場でしているように、見ているように書く。 ・「きれいだ」「おもしろい」という、気持ちの言葉を使わずに書く。	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; text-align: center; padding: 2px;"> 目、耳、心をはたらかせて </div>		・ひとりごとを言っているように、よびかけるように、さげんでいるように書く。					
詩を書く時	・今、その場でしているように、見ているように書く。 ・「きれいだ」「おもしろい」という、気持ちの言葉を使わずに書く。											
<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; text-align: center; padding: 2px;"> 目、耳、心をはたらかせて </div>												
・ひとりごとを言っているように、よびかけるように、さげんでいるように書く。												
4. 詩を書いて推敲する。 ・観点にそって詩を書く。 ・読み返して表現を工夫したり、必要のない言葉を削ったりして作品を完成させる。	・没頭して書けるよう、指示は書く前で終わらせ、十分な時間を取る。 ・書き終わったら、読み返して板書の観点をもとに推敲するよう指示する。 <div style="text-align: center; font-size: 2em;">↓</div>	書：学習したことを生かし、表現を工夫して自分の言葉で書いている。(作品) ・書きたい時の体験を思い出すよう助言する。 ・文学教材の既習事項として体言止めや倒置法も作品に生かすよう指示。										
<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px;"> <p style="background-color: #e0e0e0; display: inline-block; padding: 2px 10px;">もっとぴったり気持ちをつたえるために、次のことに気をつけて、読み返しましょう。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; padding: 5px;">見直し</td> <td style="padding: 5px;"> ・たどやぎ人法で表したほうがよいところはないですか。 ・くり返しや連にしたほうがよいところはないですか。 ・体言止めやとうち法にしたほうがよいところはないですか。 ・けずったほうがよいところはないですか。 ・くとう点、行かえ、漢字の使い方は正しいですか。 </td> </tr> </table> </div>			見直し	・たどやぎ人法で表したほうがよいところはないですか。 ・くり返しや連にしたほうがよいところはないですか。 ・体言止めやとうち法にしたほうがよいところはないですか。 ・けずったほうがよいところはないですか。 ・くとう点、行かえ、漢字の使い方は正しいですか。								
見直し	・たどやぎ人法で表したほうがよいところはないですか。 ・くり返しや連にしたほうがよいところはないですか。 ・体言止めやとうち法にしたほうがよいところはないですか。 ・けずったほうがよいところはないですか。 ・くとう点、行かえ、漢字の使い方は正しいですか。											
6. 本時のまとめと次時の予告。	・次時 = 詩を読む会	書：推敲の観点がわかり、直そうとしている。(観察・作品) ・板書やノートに書いた自分の工夫を参考にして、見直すよう助言する。										

ワークシート「詩のたね」



「はっとしたこと」をさがして、詩のたねに書きましょう。名前

△はっとしたこと▽

- ・発見したよ
- ・おどろいたんだ
- ・なぜだろう
- ・美しかったよ
- ・かわいそうだ
- ・すてきだった